白石町教育委員会点検評価報告書

[令和5年度事業]

しろいしみのりちゃん

令和6年11月

白石町教育委員会

■■■■■■■■■■■■ 目 次 ■■■■■■■■■■■■

１　点検・評価の目的及び趣旨について・・・・・・・・・・・・Ｐ１

２　点検・評価の方法について・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ１

３　教育委員の活動状況等・・・・・・・・・・・・・・・・・・P3

４　令和5年度主要事業の点検・実施状況　・・・・・・・・・P5

　・主要事業点検・評価シート・・・・・・・・・　・・・・・・P7

５　評価委員の意見・評価　・・・・・・・・・・・・・・・・・P31

１　点検・評価の目的及び趣旨について

平成18年12月に約60年ぶりに教育基本法が改正され、これからの教育のあるべき姿及び目指すべき理念が明らかにされた。また、併せて学校教育法をはじめとする教育関連法も改正された。

また、教育委員会については、その責任体制の明確化のため、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正された。

ついては、教育委員会は、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会へ提出するとともに、公表することが規定された。

本町教育委員会では、この法律の規定に基づき、令和5年度事業に係る事務事業について報告書としてまとめたところである。

〇地方教育行政の組織及び運営に関する法律（一部抜粋）

第26条　教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2　教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

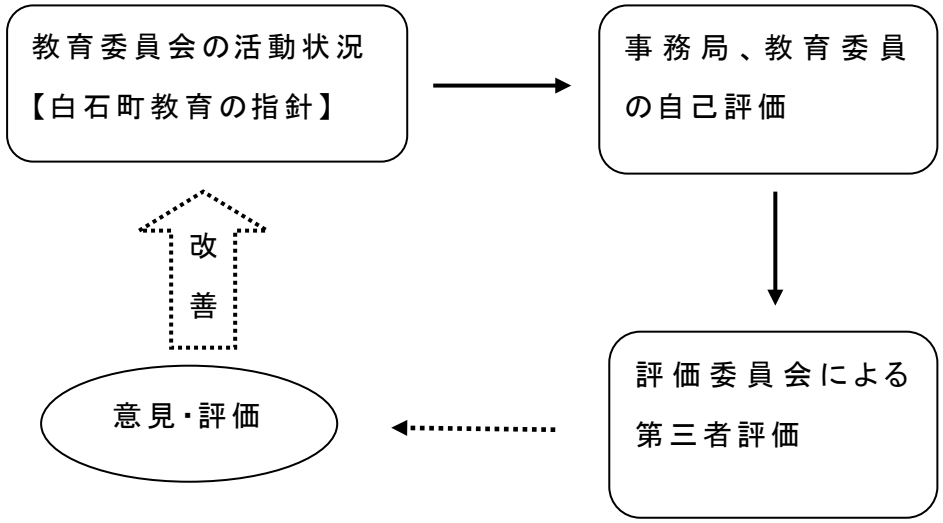
２　点検・評価の方法について

（1）点検及び評価を行う項目については、「令和5年度白石町教育の指針」における重点目標及び関連主要事業とする。

スケジュール	内　容
８月２６日	各課による事務事業点検・自己評価
１０月３１日	評価委員会の意見聴取、報告書取りまとめ
１１月１９日	教育委員会へ報告書（案）提案、承認
１１月２９日	評価委員会へ最終報告書の提示
１２月　上旬	報告書を議会へ提出
令和７年 １月上旬	公表（ホームページ等へ掲載）

（2）白石町教育委員会では、教育に関し学識経験を有する者の知見を活用するために、白石町教育委員会評価委員会を設置し、その評価委員会による評価をもとに事業の継続的な改善を図っていくこととする。

〇点検・評価のフロー図（Plan ⇒ Do ⇒ Check ⇒ Action）



〇評価委員の構成

	氏　名	所　属
委員	長　森　浩　也	日本漁船保険組合福岡県支所
委員	鶴　﨑　俊　昭	元白石町職員
委員	島ノ江　佳　弘	元小学校校長
委員	平　川　千　洋	福富保育園園長
委員	田　中　知　子	白石町男女共同参画みらいネットの会

３ 教育委員の活動状況等

（1）教育委員

職　名	氏　名	備　考
教育長	北 村　喜久次	任期（R 4.2.17～R 7.2.16）
教育長職務代理者	松 尾　博 之	任期（R 2.2.17～R 10.2.16）
委員	堤　　王 宏	任期（R 4.2.17～R 8.2.16）
委員	川 﨑　姿 子	任期（R 3.2.17～R 7.2.16）
委員	一ノ瀬　ひとみ	任期（R 5.2.17～R 9.2.16）

（2）教育委員会の開催

・年間12回の開催（定例会12回）

・会議への附議事項の36件、報告104件

附議事項の内容	教育の重要施策に関すること	3件
	予算編成に関すること	1件
	規則・規定等に関すること	11件
	教職員の人事に関すること	1件
	各種委員の任命に関すること	8件
	教科書の取扱に関すること	1件
	その他	11件

（3）教育委員の活動

・学校訪問　11回

・入学式・卒業式　22回（11校）

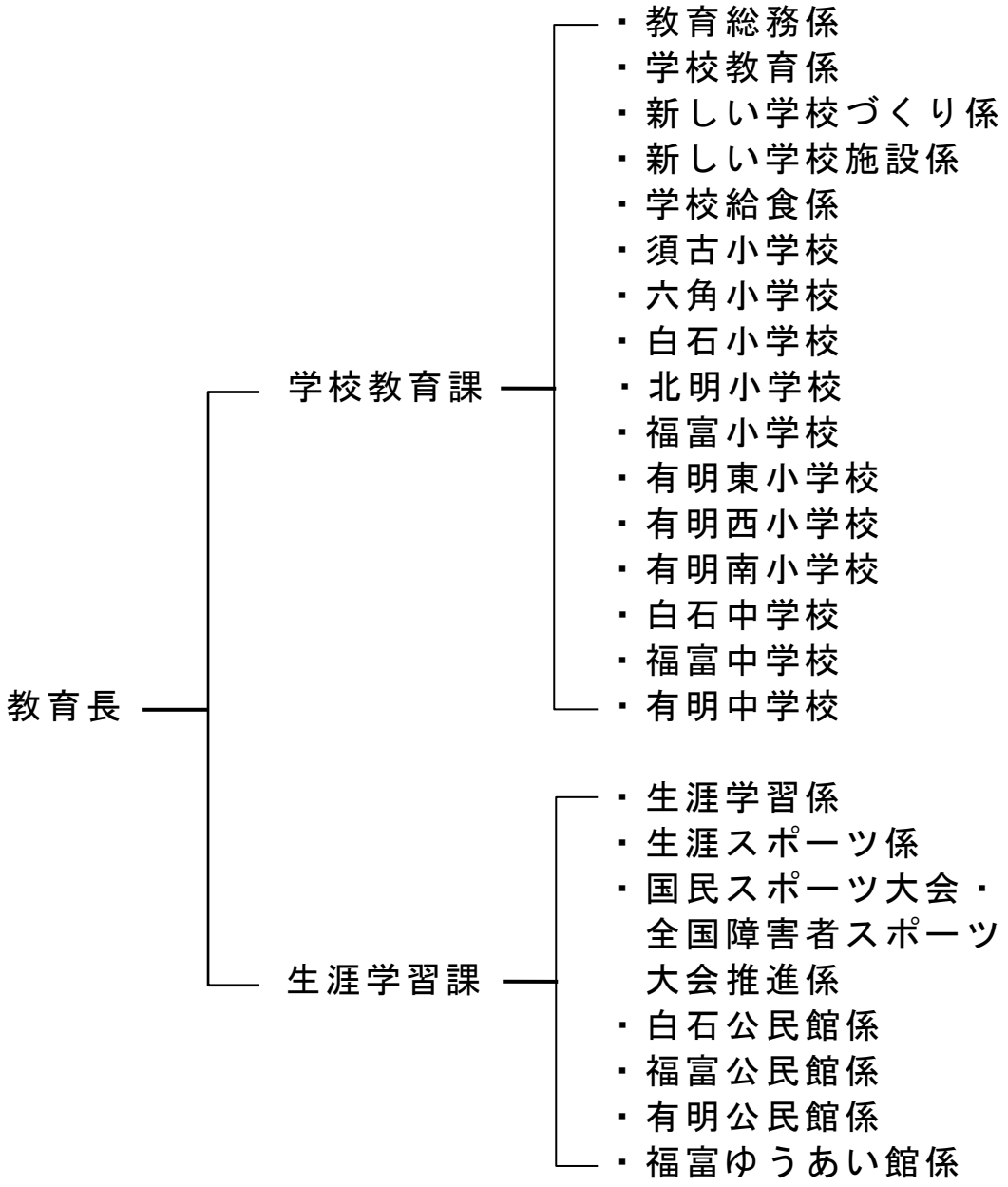
・学校行事14回（運動会体育大会11校、文化発表会3校）

・教育委員研修、県教育委員総会等　24回

・文化、生涯学習、スポーツ関係行事　38回

・二十歳のつどい　1回

（4）教育委員会の組織



（5）情報の発信

・広報白石への毎月掲載「シリーズ白石町の教育」「あるある文化財」「家庭教育コラム」

・ケーブルテレビの活用「学校行事、生涯学習課事業 PR と実績報告、ゆうあい図書館・楽習館おすすめの本紹介」「しろいし子どもっ隊」

・小中学校ホームページの充実

・図書まつり、おはなし会、工作教室等による知の拠点づくり

４ 令和5年度主要事業の点検・実施状況

（1） 白石町教育の指針における重点目標の点検・実施状況

No	重点目標（主要事業点検・評価シート）	評価	ﾍﾟｰｼﾞ
確かな学力の育成と多様なニーズに対応した教育の推進			
1	学校教育支援員（ｽｸｰﾙｱｼｽﾀﾝﾄ）配置事業	A	P7
2	学校ICT教育推進事業	A	P8
3	就学等支援事業	A	P9
豊かな心、健やかな体を育てる教育の推進			
4	スクールカウンセラー配置事業	A	P10
5	教育支援室事業	A	P11
6	学校給食事業	A	P12
家庭・地域との連携協働による教育活動を支える環境の整備			
7	地域運動部活動推進事業	A	P13
教職員の資質・能力の向上			
8	白石町教育研究会補助事業	A	P14
生涯学習まちづくりと地域コミュニケーションの推進			
9	人権・同和教育啓発事業	A	P15
10	ゆうあい図書館教室等の開催	A	P16
11	ふくどみマイランド公園整備事業	A	P17
青少年の健全育成			
12	家庭教育啓発事業	B	P18
13	体験活動事業	A	P19
生涯スポーツ・レクリエーションの振興			
14	歌垣の郷ロードレース大会の開催	A	P20
15	「スポーツ・健康増進のまち宣言」の普及推進	B	P21
16	国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会等の推進	A	P22
郷土文化・歴史の保存伝承と芸術文化の振興			
17	須古城跡国史跡化事業	A	P23
18	コウノトリ保護事業	A	P24
教育行政（教育委員会）に対する町民の理解促進			
19	白石町教育の明日を考える集会	A	P25
小中学校再編に関する取組			
20	新設中学校開校準備及び小学校再編に向けた取り組み	A	P26

21	遠距離通学者支援事業	A	P27
22	中学校再編に伴う施設整備	A	P28
23	小学校再編に伴う施設整備	A	P29
24	新学校給食センターの施設整備	A	P30

令和5年度 白石町教育委員会　主要事業点検・評価シート

No.1

事業名	学校教育支援員配置事業	担当部署	学校教育課　教育総務係
白石町総合計画 （人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本構想 第　4　章	個性豊かな人と文化を育むまち	基本計画 第　1　節	個性豊かで優れた人材の育成

財源内訳（単位：千円）							「白石町教育の指針」 重点目標との関連
		国庫	県費	地方債	その他	一般財源	
決算額 （最終予算額）	53,761 （　54,525　）		3,800			49,961	①　確かな学力の育成と時代のニーズに対応した教育の推進

内容

1 事業概要

学校現場では、不登校（別室登校を含む）児童生徒への対応、障がい等で特別な支援が必要な児童生徒への対応、補充学習による学力の向上への対応など、児童生徒の個に応じた支援の充実が求められている。しかしながら限られた人員（教職員）での対応では十分な支援を行うことができていない状況にある。

そこで、学校現場で児童生徒への個別対応等に適した教育支援員を配置し、早期の状況把握と適切な支援を図る。また、児童生徒へのきめ細やかな支援と事務支援を行う支援員の配置により教職員の負担軽減を図るもの。

≪補助の内容≫

・特別支援学級の児童生徒への対応補助
・不登校及び別室登校である児童生徒への対応補助
・障がい等により個別対応が必要な児童生徒への対応
・授業や補充学習の指導補助
・学校行事における指導及び準備運営補助
・学校事務補助
・その他、事業の趣旨に照らし校長が必要と認める校務・指導補助

2 事業実績

支援員賃金　小学校（39人）　報酬　32,623,308円（27,891時間）期末手当　5,429,388円　通勤費用弁償　1,527,000円　計　39,579,696円
中学校（12人）　報酬　11,640,210円（9,900時間）期末手当　2,241,829円　通勤費用弁償　298,703円　計　14,180,742円
1時間当たり1,045円～1,142円　**計　53,760,438円**

評価

1 事業効果

各学校に教育支援員を配置し、児童生徒のそれぞれの状況に応じた適切な支援を行うことにより、児童生徒へのきめ細やかな指導・支援が図られた。

2 課　題

各学校に時間を配分し、それぞれ子ども達に対応できるよう教育支援員の配置計画を考え、学校が運用しやすいような体制を整える。

A：十分達成した
B：ある程度達成
C：達成が不十分である
D：達成には程遠い

判定	A

事業名	学校ICT教育推進事業	担当部署	学校教育課　学校教育係
白石町総合計画（人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本構想 第　4　章　ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】	基本計画 第　1　節	個性豊かで優れた人材の育成

財源内訳（単位：千円）							「白石町教育の指針」重点目標との関連
		国庫	県費	地方債	その他	一般財源	
決算額	74,330				70,000	4,330	① 確かな学力の育成と時代のニーズに対応した教育の推進
（最終予算額）	（ 75,886 ）						

その他財源　：　ふるさと基金

内容

1　事業概要

（1）目的

○「GIGAスクール構想」により、多様な子供たち一人一人に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境を実現する。
○児童の情報活用力の育成の充実及び教員の授業改善、校務の効率化により働き方改革の一層の推進を図る。

（2）事業内容

○GIGAスクール構想によって配置が完了した一人一台パソコン等に対するICT活用への各学校に対する支援（ICT支援業務委託）
○校務PCからの情報漏洩リスクの減少（インターネット環境分離）、教職員の服務・教務分野のシステム構築による業務効率化（校務支援システム導入ほか）
○教職員の服務・教務分野のシステム構築による業務効率化（服務管理システム導入ほか）
○複合機の集約発注によるコスト低減（複合機リース）

2　事業実績

節	決算額	細節	内容説明	
10.需用費	324,989 円	消耗品費	学校内ICT周辺機器等の購入	272,189 円
		修繕料	学校内ICT周辺機器等の修繕 他	52,800 円
11.役務費	7,202,382 円	通信運搬費	ChromebookLTEモデルモバイル通信料 他	7,202,382 円
12.委託料	39,717,307 円	その他委託料	ICT支援業務委託料	36,828,000 円
			教育情報システム閲覧環境設定 他	2,889,307 円
13.使用料及び賃借料	26,234,794 円	その他使用料	校務支援・ネットワーク分離使用料、その他ICT機器リース料	26,116,572 円
			授業目的公衆送信補償金	118,222 円
17.備品購入	851,400 円	その他備品購入費	図書館蔵書管理システム用PC購入 他	851,400 円
計	74,330,872 円			

評価

1 事業効果

ICT支援員の適切な配置と校務支援システムの新規導入により、学習環境のICT化及び教職員の校務の手助けを行うことができた。また、インターネット環境を校務環境と分離することにより、情報漏洩のリスクを大幅に軽減することができたと考える。複合機の更新を大規模、かつカラー化を行ったことにより、コストダウンと印刷物の低コストなカラー化を両立することができた。

2 課　題

ICT支援員を配置したことにより、教師の負担軽減につながっているが、スキルアップへ具体的な取り組み方法の検討が必要である。1人1台PC（Chromebook）にあっては通信費・修繕費等ランニングコストの増大が課題である。

A：十分達成した
B：ある程度達成
C：達成が不十分である
D：達成には程遠い

判定	A

令和5年度 白石町教育委員会　主要事業点検・評価シート

No.3

事業名	就学等支援事業	担当部署	学校教育課　学校教育係
白石町総合計画 （人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本構想 第　4　章	個性豊かな人と文化を育むまち	基本計画 第　1　節	個性豊かで優れた人材の育成

財源内訳（単位：千円）							「白石町教育の指針」重点目標との関連
		国庫	県費	地方債	その他	一般財源	
決算額	536					536	① 確かな学力の育成と時代のニーズに対応した教育の推進
（最終予算額）	（　579　）						

内容

1 事業概要

児童生徒の障がいの状態や特性等の客観的な情報に基づき、地域・社会の実情に応じて適正な就学が図られるよう指導・助言を行う。

2 事業実績

07.報償費	その他報償費	就学時健康診断（医師・歯科校医・歯科衛生士）報償費（16人）	276,240円
		教育支援委員会・教育相談会報酬(4人)	140,000円
08.旅費	普通旅費	教育支援委員会委員及び就学相談会相談員旅費	35,930円
10.需用費	消耗品費	就学事務消耗品購入	61,397円
	印刷製本費	入学通知、健康診断案内通知等	0円
11.役務費	手数料	オージオメーター点検手数料	22,000円
合　計			535,567円

通級設置校			
福富小学校	言語障害	10人
	LD/ADHD	11人
有明西小学校	言語障害	8人
	LD/ADHD	10人
白石中学校（巡回型）	LD/ADHD	14人

就学時健康診断
10月6日（金）・24日（火）・25日（水）・27日（金）　福富ゆうあい館

教育支援委員会
第1回　6月23日(金)　通級対象者
第2回　11月　7日(火)　次年度の就学先

評価

1 事業効果

学識経験者、医師、教育職員、県及び本町の専門的職員等の専門家からなる「白石町教育支援委員会」を設置、就学相談会等を開催するなど、児童及び生徒の就学の適正化が図られた。

2 課　題

通級指導教室については、町内は福富小学校と有明西小学校、白石中学校にあるが、年々、通級指導教室に通う児童生徒が増加傾向にあり、新規の教室開設の働きかけを県（国）へ引き続き行う必要がある。

A：十分達成した
B：ある程度達成
C：達成が不十分である
D：達成には程遠い

判定	A

令和5年度 白石町教育委員会　主要事業点検・評価シート

No.4

事業名	スクールカウンセラー配置事業	担当部署	学校教育課　学校教育係

白石町総合計画（人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本構想 第　4　章	個性豊かな人と文化を育むまち	基本計画 第　3　節	個性豊かで優れた人材の育成

財源内訳（単位：千円）							「白石町教育の指針」重点目標との関連
		国庫	県費	地方債	その他	一般財源	
決算額（最終予算額）	3,179（3,319）		1,041			2,138	②　豊かな心、健やかな体を育てる教育の推進

内容

1 事業概要

児童指導上の諸課題であるいじめや不登校等に対応するため、児童の臨床心理に関して高度な専門的知識・経験を有する「スクールカウンセラー」を小学校に派遣し、以下に挙げる学校におけるカウンセリング機能の充実を図る。

① 児童へのカウンセリング
② 保護者への助言・援助
③ 児童集団、学級や学校等集団に対するアセスメントと助言・援助
④ 児童の困難・ストレスへの対処方法、児童への心の教育に資する全ての児童を対象とした心理教育プログラム等の実施
⑤ 不登校、いじめや暴力行為等問題行動、子供の貧困、虐待等を学校として認知した場合、自然災害、突発的な事件・事故が発生した際の援助
⑥ 教職員へのコンサルテーション
⑦ 教職員のカウンセリング能力等の向上のための校内研修の実施

2 事業実績

07.報償費	謝礼及び謝金	スクールカウンセラー謝金	3,025,000円
08.旅費	普通旅費	スクールカウンセラー交通費	153,660円
合　計			3,178,660円

※委嘱者	白石忠明 氏（須古小・六角小・有東小・有西小・有南小）
	古賀央子 氏（福富小）
	伊藤紀子 氏（白石小・北明小）

※総委嘱時間　602時間

評価

1 事業効果

時間的な制限がある中、スクールカウンセラーによる専門的な診断と対処法が示され、家庭も学校も共通理解の下で子どもの成長を見守ることができた。また、保護者や教職員を対象とした子育てに関する研修会を多く実施してもらい、現代の小学生に対する理解が深まった。さらに、保護者の精神的な安定を得るため、問題を抱える児童の保護者と定期的なカウンセリングを行うことができた。

2 課　題

スクールカウンセラーの来校日数は人的制約により限界があるが、相談に対する需要は年々増加の傾向にある。人員・相談時間の適正確保が喫緊の課題である。

A：十分達成した
B：ある程度達成
C：達成が不十分である
D：達成には程遠い

判定	A

令和5年度 白石町教育委員会　主要事業点検・評価シート

No.5

事業名	教育支援室事業	担当部署	学校教育課　教育総務係

白石町総合計画	基本構想		基本計画	
（人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	第　4　章	個性豊かな人と文化を育むまち	第　1　節	個性豊かで優れた人材の育成

財　源　内　訳　（単位：千円）

		国庫	県費	地方債	その他	一般財源	「白石町教育の指針」重点目標との関連
決算額	4,987				3,000	1,987	②　豊かな心、健やかな体を育てる教育の推進
（最終予算額）	（　4,432　）						

内容

1 事業概要

心理的又は情緒的理由等により登校できない状態にある児童生徒に対して、個別や小集団での支援、指導、援助を行い自立を促しながら集団生活に適応する力を育む。学校への早期復帰や社会性を育成する援助を行うため、教育支援室コンフォートスペース「あい」を開設、支援員を配置し、保護者からの相談、児童生徒への支援、指導、援助を行うもの。

・場　所　白石町交流館　ゆめてらす　2階
・支援員　会計年度任用職員5名（専任支援員1名　支援員4名）

2 事業実績

報酬	支援員報酬（5名）	3,752,550 円
職員手当	期末手当	660,253 円
旅費	通勤費用弁償	146,400 円
需用費	消耗品費	150,280 円
	燃料費	25,122 円
	修繕料	105,413 円
役務費	通信運搬費	61,217 円
使用料及び賃借料	テレビ受信料	73,656 円
備品購入費	その他備品購入費	12,100 円
計		4,986,991 円

令和5年度不登校児童生徒数

	30日以上	30日未満
小学校	12	7
中学校	29	24

令和5年度「あい」入室者数

	入室者
小学校	9
中学校	2

支援員：稲富博茂（主任支援員）、森田公惠、井上三智子、中村数寛、黒木三百合

評価

1 事業効果

家庭に引きこもりがちな不登校の子どもたちにとって、学校復帰へのワンステップとしての役割を果たしている。教育支援室におけるさまざまな活動、通室生一人一人に応じた対応が十分にとられ、心のエネルギーを充足する場となっている。子ども達は、教育支援室内で自ら学習に取り組む姿も見受けられるようになり「やる気」の向上が見られる。

2 課　題

入室児童生徒の早期の学校への復帰。 家庭に引きこもりがちな子どもたちについて、保護者、カウンセラー及び各学校と教育支援室の連携強化。

A：十分達成した
B：ある程度達成
C：達成が不十分である
D：達成には程遠い

判定	A

令和5年度 白石町教育委員会　主要事業点検・評価シート

No.6

事業名	学校給食事業	担当部署	学校教育課　学校給食係
白石町総合計画 （人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本構想 第　4　章	個性豊かな人と文化を育むまち	基本計画 第　1　節	個性豊かで優れた人材の育成

財　源　内　訳　（単位：千円）

決算額 （最終予算額）	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
248,694 （　292,588　）				116,592	132,102

「白石町教育の指針」重点目標との関連

② 豊かな心、健やかな体を育てる教育の推進

内容

1 事業概要

・給食センター　米飯（全11校）、副食（白石小、六角小、須古小、北明小、白石中、福富中）

・福富小調理場（副食）、有明東小調理場（副食）、有明西小調理場（副食）、有明南小調理場（副食）、有明中調理場（副食）

調理場	人員体制(R5)					給食調理数(R5)		
	事務職員	調理員	業務員（配送員）	栄養教諭・学校栄養職員	合計	児童生徒数	教職員数	合計
給食センター	3	12	3	1	19	852	150	1,002
福富小		5		1	6	231	29	260
有明東小		3			3	121	28	149
有明西小		4			4	103	24	127
有明南小		3			3	98	19	117
有明中		4		1	5	193	29	222
合計	3	31	3	3	40	1,598	279	1,877

※その他財源内訳（単位：千円）

・現年度給食費	73,394
・ふるさと基金	21,000
・振興基金	22,000
・工事用仮設光熱水費	103
・畜産振興協議会	94
証明書発行手数料	1
合計	116,592

2 事業実績

歳入　（単位：円）

学校給食費徴収金	73,394,049
ふるさと基金	21,000,000
振興基金	22,000,000
工事用仮設光熱水費	103,488
杵島地区畜産振興協議会補助金	94,450
証明書発行手数料	200
合　　計	116,592,187

歳出　（単位：円）

調理場	給食センター	福富小	有明東小	有明西小	有明南小	有明中	合計
運営管理費	147,023,265	364,486	296,753	247,583	290,936	309,827	148,532,850
食材費	54,126,883	13,381,616	7,151,504	6,558,197	5,983,634	12,959,376	100,161,210
合　計	201,150,148	13,746,102	7,448,257	6,805,780	6,274,570	13,269,203	248,694,060

評価

1 事業効果

学校給食を提供することにより、児童・生徒の心身の健全な発達に資することができた。また、栄養教諭が各学校を定期的に訪れ児童生徒を指導することで、学校給食を通じ、子どもたちが食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けることができた。

2 課　題

異物混入対策について、マニュアル等での確認、再発防止の徹底、調理員の意識の高揚に今後も努める。

A：十分達成した

B：ある程度達成

C：達成が不十分である

D：達成には程遠い

判定	A

令和5年度 白石町教育委員会　主要事業点検・評価シート

No.7

事業名	地域運動部活動推進事業	担当部署	学校教育課　新しい学校づくり係

白石町総合計画 （人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本構想 第　4　章	個性豊かな人と文化を育むまち	基本計画 第　1　節	個性豊かで優れた人材の育成

財源内訳（単位：千円）							「白石町教育の指針」重点目標との関連
		国庫	県費	地方債	その他	一般財源	
決算額	1,896		1,403			493	③家庭・地域との連携協働による教育環境を支える環境の整備
（最終予算額）	（　2,895　）						

内容

1 事業概要

学校及び地域の実情を踏まえ、子ども達のスポーツ・文化活動機会の充実を図るために、部活動の地域移行を見据えた新たな環境づくりが必要である。
このため、部活動検討委員会や競技別検討部会等で協議を行うとともに、地域指導者の育成や受け皿となる組織づくりを推進していく。

2 事業実績

部活動検討委員会　4回開催
競技別検討部会（9種目）　10回開催
部活動地域指導者　12名
生徒・保護者説明の実施

節	決算額（千円）	内容説明	
07　報償費	1,669	部活動地域指導者　謝金	1,211,050　円
		部活動委員会、種目別会議　謝金	457,550　円
08　旅費	95	研修旅費	95,604　円
11　役務費	19	地域指導者　傷害保険料	19,084　円
13　使用料	28	陸上教室会場使用料	27,600　円
18　負担金	85	日本スポーツ協会（JSPO）研修等参加負担金	84,700　円
合　計	1,896		

評価

1 事業効果

部活動検討委員会や競技別検討部会の実施により、部活動の地域移行等、新しい環境づくりに向けて学校、地域指導者、社会体育関係者等の連携、理解が深まった。また、中学校再編を控え子ども達のよりよいスポーツ・文化活動環境づくりのために、開設部活動の決定、高校・社会体育との連携の検討、3中学校での合同部活動の実施等により開校後のスムーズな活動開始の準備ができた。

2 課　題

部活動の地域移行に向けて、地域指導者の確保や財源、組織体制づくりなど課題は多いが、子どもたちのよりよいスポーツ・文化活動環境を整えるためには必要であり、一つ一つ解決し推進していかなければならない。

A：十分達成した
B：ある程度達成
C：達成が不十分である
D：達成には程遠い

判定	A

令和5年度 白石町教育委員会　主要事業点検・評価シート

No.8

事業名	白石町教育研究会補助事業	担当部署	学校教育課　学校教育係

白石町総合計画 （人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本構想 第　4　章	個性豊かな人と文化を育むまち	基本計画 第　1　節	個性豊かで優れた人材の育成

財源内訳（単位：千円）							「白石町教育の指針」 重点目標との関連
		国庫	県費	地方債	その他	一般財源	
決算額	647					647	④　教職員の資質・能力の向上
（最終予算額）	（　845　）						

内容

1 事業概要

白石町の学校教育の振興を図るため白石町教育研究会に補助金を交付する。

～白石町教育研究会の活動内容～

白石町内小中学校相互の連絡を密にし、町教育の振興を図る

- ・校長・教頭の職務並びに職員相互の研修
- ・児童・生徒の文化・生活・体育向上のための各種教育活動
- ・町教育振興のための研究調査
- ・教育関係機関との連絡・連携及び教育振興についての各種教育活動　など

2 事業実績

項目		
総務費	校長・教頭研修会（教育後援会謝金：10,000円）	10,000
研修費	新たな課題（小中連携学力向上）研究費 校内研究助成費（11校×30,000円） 教科等研究費　（教科等研究会への補助：156,277円） 職種別（養護・特別支援）部会費　（9,906円）	570,183
教育交流会費	白石部18,864円・有明部8,145円	27,009
体育費	中学校体育部へ（28,931円）	28,931
事務費	事務用品（11,000円）	11,000
予備費	図書購入代金振込手数料	203
計		647,326

（主要行事）

5月15日	第1回学校代表者会（校長研修会代催：有明中）
5月31日	杵島郡教科等研究部会（有明中）
10月18日	新たな課題研究（研究発表会）（有明西小）
11月2日	新たな課題研究（公開授業研究会）
11月10日	
12月3日	白石町教育の明日を考える会（総合センター）

評価

1 事業効果

実績報告によれば、令和2年度から4年度までの3年間についてコロナ禍の影響による研修の停滞から脱却が図られ、盛んな研修が行わたことが見受けられた。新白石中の統合及びその後の小学校統合に向け、小中連携を含めた、各学校の学力向上に資した研究に有効的に活用されたと思われる。

2 課　題

教育現場における問題の種類は年々変化してきており、本事業による補助が、それらに対する有用な一助となるような内容・取組みとして活用いただくことが本事業の趣旨である。有効な研究目的に、本補助を利活用いただくことが継続的な課題である。

A：十分達成した
B：ある程度達成
C：達成が不十分である
D：達成には程遠い

判定	A

令和5年度 白石町教育委員会　主要事業点検・評価シート

No9

事業名	人権・同和教育啓発事業	担当部署	生涯学習課　生涯学習係
白石町総合計画 （人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本構想 第　6　章	参加と協働で築く町民主体のまち　【町民参加・町民協働】	基本計画 第　2　節	人権の尊重と男女共同参画の推進

財源内訳（単位：千円）							「白石町教育の指針」 重点目標との関連
		国庫	県費	地方債	その他	一般財源	
決算額 （最終予算額）	715 （　858　）		363			352	⑤生涯学習まちづくりと地域コミュニケーションの推進

内容

1 事業概要
① 「しろいし人権フェスティバル」の開催（講演会、町内から標語・作文と中学校より人権ポスターの募集し表彰する）
② 人権教育の啓発事業
③ 佐賀県人権・同和教育研究協議会主催事業への参加
④ 人権啓発活動地方委託事業に係る再委託事業による人権カレンダーの作成、配布

2 事業実績
●人権フェスティバルの開催　　149,300円
●地域団体への学習会の開催（12回）　　96,000円
●人権カレンダーの配布（4,750部）　　365,750円

【県費（100%）：人権啓発活動地方委託金303千円、市町人権教育総合推進事業費補助金60千円】

節	決算額（千円）	内容説明	
7.報償費	217	講師謝金（人権フェスティバル15,000円、人権教育96,000円）	111,000円
		謝礼（選考委員3,000円、人権フェス実行委員他41,850円）	44,850円
		人権フェスティバル入賞者記念品（図書カード@1,000×61枚）	61,000円
10.需用費	397	人権フェスティバル等消耗品費（賞状用紙、封筒、ファイル等）13,362円 県人権・同和教育研究大会資料代（全体会6,400円、分科会12,000円）	31,762円
		人権カレンダー作成費	365,750円
18.負担金、補助金及び交付金	101	佐賀県人権・同和教育研究協議会負担金	101,086円
合　計	715		

評価

1 事業効果
学校、保護者、町内各種団体が実行委員となり、「人権フェスティバル」を開催。人権標語、ポスター、作文の優秀作品の披露と表彰及び講演を行うことで、学社連携による人権・同和教育の浸透を図ることができた。また、小中学校PTAや各種団体への研修、人権カレンダーの配布を行うことで、広く町民へ人権啓発及び推進を行うことができた。

2 課題
人権啓発活動地方委託事業に係る再委託事業において、令和3年度より「人権カレンダー」の配布を行っているが、例年、配布時期が年度末となるため、年度のカレンダーとなっている。
今後も人権啓発活動評価委員会の意見を参考に事業推進を図る。

A：十分達成した
B：ある程度達成
C：達成が不十分である
D：達成には程遠い

判定	A

令和5年度 白石町教育委員会　主要事業点検・評価シート

No.10

事業名	ゆうあい図書館教室等の開催	担当部署	生涯学習課　福富ゆうあい館係

白石町総合計画	基本構想		基本計画	
（人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	第　4　章	個性豊かな人と文化を育むまち【教育文化の向上】	第　2　節	生涯学び楽しめる環境の充実

財源内訳（単位：千円）							「白石町教育の指針」重点目標との関連
		国庫	県費	地方債	その他	一般財源	
決算額	114						
（最終予算額）	（　185　）				2	112	⑤生涯学習まちづくりと地域コミュニケーションの推進

内容

1 事業概要
・ゆうあい教室の開催（年間4回）　・館内おはなし会の開催（毎月第2・4土曜日）
・としょかんウィーク（11月）　・その他図書館イベント
町民の憩の場及び学習の場として、地域に親しまれる図書館を目指し、町民の要望にこたえられるような図書館づくりを図る。

2 事業実績
□ゆうあい図書館教室等の開催　113,028 円　□ゆうあい教室参加料（2月）　2,800 円

（単位：円）

科目	決算額
07　報償費	86,500
10　需用費	26,528
合　計	113,028

※2・3・4は延べ人数

令和5年度		期　日	教室内容	参加者数	合　計
1	ゆうあい教室（工作教室）	5月14日（日）	ハーバリュウムボールペンをつくろう	15 人	68 人
		7月23日（日）	手話にチャレンジ！！	16 人	
		10月 1 日（日）	ボールをつかって体をうごかそう	24 人	
		2月18日（日）	フルーツ大福つくり	13 人	
2	館内おはなし会	毎月第2・4土曜日（6・9・10月は1回）　年間21回			274 人
3	GoToゆうあい図書館スタンプキャンペーン	7月21日（木）～8月30日（水）	町内小学生対象		507 人
4	としょかんウィーク	10月28日（土）～11月 3日（祝）	ブックリサイクル（175人977冊） おはなし会（58人）・本の重さ当てクイズ（89人） 上映会（20人）・プチキャンプ体験（110人） 布あそび同好会作品展示		452 人

評価

1 事業効果

おはなし会は、町内読み聞かせ団体の協力を受け、予定どおり開催することができた。ゆうあい教室も就学前から一般を対象とした教室ができた。また、町内小学生を対象としたGoToゆうあい図書館スタンプキャンペーンは、貸出冊数・来館者増につながった。図書館イベントとゆうあい館利用団体と併せてのイベント開催で参加者増を図ることができた。

A：十分達成した
B：ある程度達成
C：達成が不十分である
D：達成には程遠い

2 課題

町内読み聞かせ団体も高齢化、会員の減少等問題を抱えながらも、協力のおかげ図書館行事は開催できている。
教室開催については、集客を伸ばすために、幅広い年齢層が関心のある内容を選定し、イベント等の周知に力を入れて実施する。
固定客の他に新規の図書館利用者を増やすために図書館PRや利用しやすい環境を整え、必要とされる情報提供に努める。

判定	A

令和5年度 白石町教育委員会　主要事業点検・評価シート

No.11

事業名	ふくどみマイランド公園整備事業	担当部署	生涯学習課　福富公民館係
白石町総合計画 （人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本構想 第　4　章	個性豊かな人と文化を育むまち【教育文化の向上】	基本計画 第　2　節	生涯学び楽しめる環境の充実

財　源　内　訳　（単位：千円）

決算額 （最終予算額）		国庫	県費	地方債	その他	一般財源	「白石町教育の指針」 重点目標との関連
48,895 （ 48,895 ）		48,895				0	⑤生涯学習まちづくりと地域コミュニケーションの推進

内容

1 事業概要

公園利用者がコロナ禍でも密を避けながら新しい生活様式を踏まえた公園利用ができるよう、さらには、アフターコロナを見据え、町内外から多くの人が訪れて健康づくりや交流の場として利用されるように、ふくどみマイランド公園わんぱく広場の遊具の入れ替えを行った。

2 事業実績

（単位：円）

科　目		決算額
14	工事請負費	48,895,000
合　計		48,895,000

評価

1 事業効果

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業によりふくどみマイランド公園わんぱく広場の遊具の入れ替えを行い町内外から多くの方が訪れるようになった。

2 課　題

マイランド公園の草刈りなど公園管理を適切に行う。

A：十分達成した
B：ある程度達成
C：達成が不十分である
D：達成には程遠い

判定	A

令和5年度 白石町教育委員会　主要事業点検・評価シート

No.12

事業名	家庭教育啓発事業	担当部署	生涯学習課　生涯学習係
白石町総合計画 （人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本構想 第　4　章	個性豊かな人と文化を育むまち	基本計画 第　1　節	個性豊かで優れた人材の育成

財源内訳（単位：千円）							「白石町教育の指針」 重点目標との関連
		国庫	県費	地方債	その他	一般財源	
決算額 （最終予算額）	272 （　272　）					272	⑥青少年の健全育成

内容

1 事業概要

家庭教育はすべての教育の出発点であり、学校教育の前段階としての役割も大きいため、町広報紙に掲載した「家庭教育コラム」を冊子化し、小・中学校の最長子及び年長児の保護者等に配布し、家庭、地域における子育てや親子のコミュニケーションの重要性を説く。

2 事業実績

節	決算額（千円）	内容説明	
10.需用費	272	家庭教育コラム冊子作成費	271,700円
合　計	272		

評価

1 事業効果

広報紙に掲載した「家庭教育コラム」を冊子化し、小・中学校の最長子及び年長児の保護者等に配布することで、色々な分野の方々目線での　家庭教育についての学びを、子どものいる世帯に、家庭教育に対する意識や知識が向上し、家庭教育への重要性を認識する一助となった。

2 課題

家庭教育出前教室を実施し、家庭教育の重要性について説明し、家庭教育の学習機会や情報を提供する。
幼・保育園での実施については、保育参観など保護者が集まる機会と時間的確保が困難であった。

A：十分達成した
B：ある程度達成
C：達成が不十分である
D：達成には程遠い

判定	B

令和5年度 白石町教育委員会　主要事業点検・評価シート

No.13

事業名	体験活動事業	担当部署	生涯学習課　生涯学習係
白石町総合計画 （人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本構想 第　4　章	個性豊かな人と文化を育むまち	基本計画 第　1　節	個性豊かで優れた人材の育成

財源内訳（単位：千円）							「白石町教育の指針」重点目標との関連
		国庫	県費	地方債	その他	一般財源	
決算額 （最終予算額）	741 （　741　）				184	557	⑥青少年の健全育成

その他の財源　体験活動参加負担金（平戸市的山大島）
23名×8,000円＝184千円

内容

1 事業概要

青少年の健全育成を積極的に推進するために、地域の人たちや関係団体との協力のもと、文化・野外活動、自然体験活動を行う。
自然の中で、子ども達がたくましさと自主性を学び、友情を育み、資質を高め、白石町の青少年リーダーとなることを目指す。
●体験活動（平戸市的山大島）・・・町内小学校4～6年生の希望者（定員30名）に、宿泊体験を主とした体験学習活動を行う。

2 事業実績

町内8小学校の4～6年生を対象に学校を通じて募集。参加申込23名。
活動内容として、ほんなもん体験、民泊体験を実施。

節	決算額（千円）	内容説明	
8.旅費	741	体験活動（平戸市的山大島）児童等旅費	740,760円
合　計	741		

内　容	期　日	場　所
事前説明会、アイスブレイク	7月13日(土)	白石町総合センター
体験活動（民泊体験）	7月25日(木)～27日(土)	平戸市的山大島

ほんなもん体験…魚のおろし方、長崎ちゃんぽん作り、押し寿し作り、港釣り、船釣り
民泊体験…民泊受け入れ数（7世帯）

評価

1 事業効果

違う校区、学年の子と仲良くなり、ほんなもん体験や民泊体験を通して友だち作りができた。また、ほんなもん体験では、魚のおろし方、船釣り等様々な体験を通して、互いに励ましあいながら仲良く協力しあうことで、自主性、責任感、忍耐力など個々の資質を高めると共に自立を促し、個性豊かで優れた人材の育成を図ることができた。

2 課題

近年では、児童の減少と、社会体育（クラブ活動）や習い事等に参加する児童の増加により、体験活動への参加児童の減少がみられるため、保護者への周知、募集方法にも工夫が必要であった。

A：十分達成した
B：ある程度達成
C：達成が不十分である
D：達成には程遠い

判定	A

令和5年度 白石町教育委員会　主要事業点検・評価シート

No.14

事業名	歌垣の郷ロードレース大会の開催	担当部署	生涯学習課　生涯スポーツ係
白石町総合計画 （人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本構想 第　4　章	個性豊かな人と文化を育むまち	基本計画 第　2　節	生涯学び楽しめる環境の充実

財源内訳（単位：千円）							「白石町教育の指針」 重点目標との関連
		国庫	県費	地方債	その他	一般財源	
決算額 （最終予算額）	3,757 （　4,000　）				2,000	1,757	⑦生涯スポーツ・レクリエーションの振興

内容

1 事業概要

歌垣の郷ロードレース大会を開催し、「白石町スポーツ・健康増進のまち」を全国的にアピールすると共に、町民の健康増進と町の活性化を図る。

2 事業実績

節	決算額（千円）	細節	内容説明
12.委託料	3,757	その他委託料	ロードレース大会委託料（実行委員会）　4,000,000円 −243,855円
合　計	3,757		

大会名　：第27回歌垣の郷ロードレース大会
開催時期　：令和6年3月3日（日）
企画・運営　：実行委員会形式により、6月から3月まで6回の実行委員会を開催
競技種目　：10kmの部・5kmの部・3kmの部・2kmの部・ジョギングの部　※10km・5kmは、（公財）日本陸上競技連盟公認コース
参加料　：5km・10km　一般　2,500円、高校生　2,000円、2km・3km　小・中学生　1,000円、ジョギング　一般・高校生1,500円、中学生以下500円
参加申込者数：1,437人

種目	人数
①　2km小学生男子（4年～）	87
②　2km小学生女子（4年～）	71
計	158

種目	人数
③　3km中学生男子	93
④　3km中学生女子	84
計	177

種目	人数
⑤　5km一般男子（18～39歳）	53
⑥　5km一般男子（40歳以上）	117
⑦　5km高校生女子	31
⑧　5km一般女子	42
計	243

種目	人数
⑨　10km高校生男子	76
⑩　10km一般男子（18～39歳）	110
⑪　10km一般男子（40～59歳）	187
⑫　10km一般男子（60歳以上）	112
⑬　10km一般女子（18～39歳）	25
⑭　10km一般女子（40歳以上）	56
計	566

種目	人数
⑮　2kmファミリージョギング（高校生、一般）	136
⑮　2kmファミリージョギング（中学生以下）	157
計	293

評価

1 事業効果

5年ぶりの全種目開催となり、徐々にではあるが元の賑わいを取り戻しつつある。
県内外から多くの参加者が来町され、町のPRができた。また、多くの町民がロードレース大会に「（参加）する・見る・支える」ことで、町民のスポーツ・健康増進に対する意識の高揚の一助となった。

2課　題

約30年経過し大会用具の劣化も目立ってきており、更新が必要となってきている。また、物価高騰等もあり、大会運営費が増えることも予想される。今後は、委託料の増額及び参加料の増額の検討も必要となってくる。

A：十分達成した
B：ある程度達成
C：達成が不十分である
D：達成には程遠い

判定	A

令和5年度 白石町教育委員会　主要事業点検・評価シート

No.15

事業名	「スポーツ・健康増進のまち宣言」の普及推進	担当部署	生涯学習課　生涯スポーツ係
白石町総合計画 （人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本構想 第　4　章	個性豊かな人と文化を育むまち	基本計画 第　2　節	生涯学び楽しめる環境の充実

財源内訳（単位：千円）							「白石町教育の指針」 重点目標との関連
		国庫	県費	地方債	その他	一般財源	
決算額 （最終予算額）	211 （　244　）					211	⑦生涯スポーツ・レクリエーションの振興

内容

1 事業概要

町民全てが健やかで心豊かに暮らすことを願い、スポーツ・運動を通して健康を育み、はつらつと元気で活力のある町を目指すため、令和元年12月に「白石町スポーツ・健康増進のまち宣言」をされた。この宣言の目標達成に向けて掲げてある宣言目標や取組方針（行動計画）の実現に向けての検討及び普及推進を行う。

・スポーツアドバイザーの設置
・宣言にかかる住民啓発活動
・関係団体による推進委員会の発足

2 事業実績

節	決算額（千円）	細節	内容説明	
7.報償費	211	謝礼及び謝金	スポーツ・健康増進のまち推進委員会議謝金	0円
			スポーツ・健康増進のまち推進事業謝金	200,000円
			スポーツアドバイザー謝金	10,800円
13.使用料及び賃借料	0	会場借上料	講演会会場借上料	0円
合　計	211			

・スポーツアドバイザーの設置

青少年へのスポーツ指導、地域の特性を生かしたスポーツクラブの育成など、取り組み体制の強化を図ることを目的として、令和4年度から生涯学習課にスポーツアドバイザーを配置している。（5年度は、勤務形態変更）

・宣言にかかる住民啓発活動

「ジュニアバレーボール教室」の開催
日時／11月16日（日）
場所／福富中学校体育館
講師／SAGA久光スプリングス　OG　石井優希　氏
　　コーチ　久保山　尚　氏
参加者／町内ジュニアバレーボールクラブ4団体　約50人

・関係団体による推進委員会の発足

推進委員会を立ち上げることはできなかった。

評価

1 事業効果

新型コロナは令和5年5月に5類へ移行となったが、国スポリハーサル大会等との関係からコロナ禍以前のような町全体でのスポーツ大会完全実施とはならなかった。そのような状況の中で、名称や内容等を見直しながらスポーツ事業を開催していくことで、町民の健康増進と融和を図ることができるよう努めた。

また、ジムナスティクスホール白石（旧福富中学校体育館）を活用する企業誘致は、「白石町スポーツ・健康増進のまち宣言」にもつながる取り組みとなった。推進委員会の設立はできなかったが、役場内の関係各課が「白石町スポーツ・健康増進のまち宣言」に沿った事業に、できる範囲で取り組んだ。

2 課　題

「スポーツ・健康増進のまち」の推進に向けて町内の関係機関と連携していく必要があると思われる。

A：十分達成した
B：ある程度達成
C：達成が不十分である
D：達成には程遠い

判定	B

事業名	国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会等の推進	担当部署	国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会推進係
白石町総合計画（人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本構想 第 4 章	個性豊かな人と文化を育むまち	基本計画 第 2 節	生涯学び楽しめる環境の充実

財源内訳（単位：千円）							「白石町教育の指針」重点目標との関連
		国庫	県費	地方債	その他	一般財源	
決算額	28,881						
（最終予算額）	（ 31,935 ）		10,563		10,150	8,168	⑦生涯スポーツ・レクリエーションの振興

その他の財源：共催市町（上峰町・みやき町）負担金

内容

1 事業概要

令和6年開催のSAGA2024国スポ・全障スポの本大会、デモンストレーションスポーツ及び競技別リハーサル大会の開催に向け、実行委員会（専門委員会）の運営をはじめ、先催県の情報をもとに、県や関係団体等と連携を図りながら、円滑な大会運営のためにしっかり準備を行う。

また、ホームページの開設による国スポ情報の発信や大会PRグッズの製作・配布などで大会開催等を広く周知するとともに、学校訪問2024による体験学習や町内外イベントへの体験コーナーの設置など競技自体の魅力もあわせてPRし、大会開催への機運醸成を図る。

2 事業実績

（1）事業経費 （実行委員会収支）　（単位：円）

収入		支出		
1.町負担金	29,110,000	1.総務費	210,312	
2.繰越金	2,825,205	会議費	22,578	各専門委員会開催時のお茶代
3.預金利息	149	事務局費	187,734	振込手数料、郵送・切手代、事務用品等
		2.開催推進費	2,501,079	
		調査費	810,107	先催県への視察
		広告啓発費	1,365,572	のぼり旗、広告チラシ、缶バッチ等啓発グッズ製作　他
		施設整備費	325,400	デモスポ競技用品、総合運動場補修材
		3.競技運営費	26,147,568	
		リハーサル大会運営事業費	26,147,568	設営・撤去業務委託料、競技用品、大会運営用物品　他
		4.ムーブメント推進費	21,800	
		需用費	21,800	会場花装飾用プランター代
		5.予備費	－	
計	31,935,354	計	28,880,759	

【 町負担金 】　－　【 支出済額 】　＝　【 次年度繰り越し】
31,935,354円　－　28,880,759円　＝　3,054,595円

● 国民スポーツ大会 （令和6年10月5日～15日）

リハーサル大会

【大会】 第75回全日本総合女子ソフトボール選手権大会
【会期】 令和5年9月16日（土）～18日（月・祝）
※予備日 19日（火）
【会場】 白石町総合運動場

デモンストレーションスポーツ

【競技】 ソフトバレーボール
【会期】 令和6年5月12日（日）
【会場】 白石社会体育館、白石中学校体育館

本競技

【競技】 ソフトボール（成年男子）
【会期】 令和6年10月12日（土）～14日（月・祝）
【会場】 白石町総合運動場

● 全国障害者スポーツ大会 （令和6年10月26日～28日）

リハーサル大会

【大会】 第23回全国障害者スポーツ大会「SAGA2024」リハーサル大会 兼 第23回全国障害者スポーツ大会九州ブロック予選会 兼 第61回九州視覚障害者グランドソフトボール大会
【会期】 令和6年6月8日（土）～9日（日）
【会場】 白石町総合運動場

本競技

【競技】 グランドソフトボール（視覚）
【会期】 令和6年10月26日（土）～27日（日）
【会場】 白石町総合運動場

評価

1 事業効果

○SAGA2024国スポ・全障スポ白石町実行委員会の第4回総会及び各専門委員会の開催により、大会運営に必要な事項を協議・決定することができた。
○PRグッズの製作・配布、懸垂幕・横断幕の掲示、のぼり旗やウインドウサイン（役場庁舎正面玄関）の設置等によって、町民に大会開催の周知を行うことができた。
○町内外のイベントに広報啓発ブースを設置し、多くの参加者にストラックアウトなどを体験していただき、本町開催競技の魅力をPRすることができた。

2課 題

○広報紙への掲載やホームページでの情報発信に加え、チラシの製作・配布など広報活動をさらに強化し、大会の認知や参加意欲の向上を図る必要がある。

A：十分達成した
B：ある程度達成
C：達成が不十分である
D：達成には程遠い

判定	A

令和5年度 白石町教育委員会　主要事業点検・評価シート

No.17

事業名	須古城跡国史跡化事業	担当部署	生涯学習課　生涯学習係
白石町総合計画（人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本構想 第 4 章　個性豊かな人と文化を育むまち	基本計画 第 3 節	地域文化の伝承と新たな魅力の創造

財源内訳　（単位：千円）

決算額（最終予算額）		国庫	県費	地方債	その他	一般財源	「白石町教育の指針」重点目標との関連
	8,642	4,321	1,728			2,593	⑧郷土文化・歴史の保存伝承と芸術文化の振興
	（ 9,501 ）						

内容

1 事業概要

令和4年度より須古城跡の国史跡指定を目指し、須古城跡調査検討有識者会議を開催し地形測量図等を委託する。

2 事業実績

●有識者会議・現地指導・確認調査･･･須古城跡調査検討有識者会議の開催（第2回:6月20日、第3回:1月10日、第4回:2月27日）

●測量委託業務･･･令和5年度調査トレンチの遺構測量図化委託業務。櫓台跡石垣等の石垣測量図化委託業務。
令和4年度測量範囲外周部から外濠　地形測量委託業務　面積22ha

●須古城に関する出前講座等…講座開催回数:12回、参加延べ人数:545人

【須古城跡補助事業費8,642千円･･･国庫（50%）：国宝・重要文化財等保存・活用事業費補助金 4,321千円 、県費（20%）：佐賀県文化財保存事業補助金1,728千円】

節	決算額	内容説明	
1.報酬	646	発掘調査作業員報酬	646,293円
7.報償費	156	須古城跡調査検討有識者会議委員謝金	156,000円
8.旅費	372	発掘調査作業員費用弁償	39,600円
		有識者旅費332,857円	332,857円
10.需用費	250	消耗品費	250,000円
12.委託料	7,864	須古城跡測量実測委託料（地形測量 6,028,000円、石垣測量図化 660,000円 遺構測量図化 1,175,000円）	7,863,900円
合　計	8,642		

評価

1 事業効果

令和10年度の須古城跡の国史跡指定に向け、令和4年度に須古城跡調査検討有識者会議を開催し指導・助言を受けた。また、文化庁調査官の現地指導を受け、令和5年度より現地発掘調査に着手した。また、発掘調査個所の遺構測量図化、櫓台跡北側石垣測量図化、令和4年度測量範囲外周部から外濠、水路部分まで面積約21haの地形測量図の作成を行うことができた。

2 課題

令和5年度より、須古城跡丘陵部の発掘調査を実施しているが、国庫補助金の要望に対し、内示にて減額された。来年度以降も、同様のケースが想定されるため、事業の進捗に影響があると思われる。

A：十分達成した
B：ある程度達成
C：達成が不十分である
D：達成には程遠い

判定	A

令和5年度 白石町教育委員会　主要事業点検・評価シート

No.18

事業名	コウノトリ保護事業	担当部署	生涯学習課　生涯学習係
白石町総合計画（人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本構想 第 4 章　個性豊かな人と文化を育むまち	基本計画 第 3 節	地域文化の伝承と新たな魅力の創造

財源内訳（単位：千円）							「白石町教育の指針」重点目標との関連
		国庫	県費	地方債	その他	一般財源	
決算額	1,290					1,290	⑧郷土文化・歴史の保存伝承と芸術文化の振興
（最終予算額）	（ 1,669 ）						

内容

1 事業概要
コウノトリは「文化財保護法」及び「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」により保護が図られており、保護及びふ化後の足環装着の実施を行う。

2 事業実績
・コウノトリ足環装着専門家の派遣に係る旅費
・コウノトリ保護用品
・交通誘導警備員委託料

節	決算額	内容説明	
07.報償費	8	コウノトリ足環装着専門家謝礼	7,910円
08.旅費	284	コウノトリ足環装着（専門家）派遣旅費	283,240円
10.需用費	74	コウノトリ保護用品（足環装着及び落下時搬送用品等）	73,068円
12.委託料	924	交通誘導警備委託料	924,000円
合　計	1,290		

評価

1 事業効果
国の特別天然記念物であるコウノトリを保護し、定着を成功させることで地域の活性化に繋がり、郷土に対する誇りと愛着心の向上が期待できる。

2 課題
今年度以降も繁殖を継続した場合に、観察者等が多数訪れトラブル等防ぐため、見学者への注意喚起や、営巣地周辺の土地所有者や地元住民への連絡調整が必要である。
また、コウノトリの繁殖を通じて、小・中学校に普及啓発活動を行うことが必要である。

A：十分達成した
B：ある程度達成
C：達成が不十分である
D：達成には程遠い

判定	A

事業名	白石町教育の明日を考える集会	担当部署	学校教育課　生涯学習課
白石町総合計画 （人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本構想 第　4　章	個性豊かな人と文化を育むまち	基本計画 第　1　節	個性豊かで優れた人材の育成

財源内訳（単位：千円）							「白石町教育の指針」重点目標との関連
		国庫	県費	地方債	その他	一般財源	
決算額	238					238	⑨ 教育行政（教育委員会）に対する町民の理解促進
（最終予算額）	（　381　）						

※最終予算については、学校教育課予算

内容

1 事業概要

本町の教育・文化・スポーツの現状や取り組みについて周知し、町民の皆様方の御理解を深めるとともに、意見交換並びに交流を図ることで、将来の本町教育の方向性について共に考える。

2 事業実績

開催日　令和5年12月3日（日）
場　所　福富ゆうあい館　多目的ホール
　　ロビー展示（各学校の取り組み紹介）
事業費　200,000 円　講師謝金
　　37,488 円　記念品代
　　計　237,488 円

参加者　205　人

主催者　白石町教育委員会

共催　杵島郡PTA連合会
　　白石町教育研究会

開催日程
① 受付

② 開会行事
あいさつ・来賓祝辞・教育功労者表彰

③ 講師：スクールソーシャルワーカー/スクールカウンセラー
　　元福岡県警察少年育成指導官　堀井　智帆　氏
演題：「生まれてきてくれてありがとう」

④ 閉会行事
謝辞

評価

1 事業効果

今年度の集会では、「NHKプロフェッショナル仕事の流儀」に出演され、現在はスクールソーシャルワーカー/スクールカウンセラーとして活躍されている「堀井智帆」氏に講演をしていただき、子育てに関する問題において、非行、ひきこもり、親子支援等を行ってこられた実績を基に、保護者はもとより教職員にとっても有意義な講演となった。

3 課　題

今後も有意義な講演の開催、本旨である「将来の本町教育の方向性について共に考える」とあるように、多くの町民に参加いただく集会にしていきたい。

A：十分達成した
B：ある程度達成
C：達成が不十分である
D：達成には程遠い

判定	A

令和5年度 白石町教育委員会　主要事業点検・評価シート

No.20

事業名	新設中学校開校準備及び小学校再編に向けた取り組み	担当部署	学校教育課　新しい学校づくり係

白石町総合計画 （人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本構想 第　4　章	個性豊かな人と文化を育むまち	基本計画 第　1　節	個性豊かで優れた人材の育成

財源内訳（単位：千円）							「白石町教育の指針」重点目標との関連
		国庫	県費	地方債	その他	一般財源	
決算額 （最終予算額）	28,211 （　30,909　）				25,000	3,211	⑩　小中学校再編に関する取組

内容

1 事業概要

少子化による児童生徒数の減少に伴い小中学校の小規模化が進行する中で、よりよい教育環境を整えるため、学校再編計画に基づき小中学校の再編を進める。
学校再編のための様々な具体的事項について、新しい学校づくり準備委員会で協議、決定を行う。
【中学校】中学校統合再編計画に基づき、町内3中学校を1校に再編し、令和6年4月に新白石中学校を開校する。
【小学校】小学校再編計画に基づき、町内8小学校を3小学校に再編する。令和8年4月に有明地域3小学校を1校に再編。令和12年4月に白石地域4小学校を1校に再編。

2 事業実績

【白石中学校】　準備委員会（3回）、総務部会（1回）、組織部会（1回）、学校運営部会（5回）、その他（各校務分掌部会、引越準備委員会、PTA再編会議、学校指定備品検討会
児童・生徒・保護者説明会の実施、閉校式の開催、開校式準備、校歌制作、備品購入　等
【有明小学校】　準備委員会（5回）、総務部会（4回）、組織部会（4回）、学校運営部会（4回）

節	決算額（千円）	内容説明	
01　報酬	5,539	指導主事（会計年度任用職員）報酬	5,538,610 円
03　報償費	849	指導主事（会計年度任用職員）期末手当	848,937 円
04　共済費	415	指導主事（会計年度任用職員）共済組合負担金、事務費負担金	415,114 円
07　報償費	3,103	校歌制作謝金	1,100,000 円
		新しい学校づくり準備委員会委員報償費　他	2,003,400 円
08　旅費	41	指導主事（会計年度任用職員）費用弁償	24,000 円
		視察研修	17,000 円
10　需用費	1,800	事務用品、中学校開校関連品（名札、体操服シャツ、クリアファイル等	1,800,555 円
13　賃借料	8	中学校新入生説明会会場借上料	7,700 円
17　備品購入費	14,956	校章旗、職員室机、生徒用机・椅子	14,956,150 円
18　補助金	1,500	中学校閉校記念事業補助金（3校）	1,500,000 円
合　計	28,211		

評価

1 事業効果

学校再編を進めていき財源を集中的・効果的に投資することでよりよい教育環境の充実につながっていく。新しい学校づくり準備委員会で協議を行い、白石中学校については令和6年4月の開校に向けて準備を完了させ、有明小学校についても令和8年4月の開校に向け順調に準備が進んだ。

2 課　題

小学校再編計画に基づき、各学校の開校に向けて協議、決定を行っていかなければならない。また、保護者や住民等への周知を図り、理解を得ながら進めていくことが重要である。

A：十分達成した
B：ある程度達成
C：達成が不十分である
D：達成には程遠い

判定	A

令和5年度 白石町教育委員会　主要事業点検・評価シート

No.21

事業名	遠距離通学者支援事業費	担当部署	学校教育課　新しい学校づくり係

白石町総合計画	基本構想		基本計画	
（人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	第　4　章	個性豊かな人と文化を育むまち	第　1　節	個性豊かで優れた人材の育成

財　源　内　訳　（単位：千円）							「白石町教育の指針」重点目標との関連
		国庫	県費	地方債	その他	一般財源	
決算額	53,295	22,500			24,000	6,795	⑩　小中学校再編に関する取組
（最終予算額）	（　54,000　）						

内容

1 事業概要

中学校再編に伴い遠距離通学となる生徒の安全確保と負担軽減を目的に、スクールバス運行による通学支援を行う。

2 事業実績

・マイクロバス6台の購入
・運行委託業者の選定（R6～R10　5年間）
・運行方法の決定（ルート、時刻表、ルール　等）、児童・生徒・保護者への周知

節	決算額（千円）	内容説明	
17　備品購入費	53,295	スクールバス購入（マイクロバス　6台）	53,295,153　円

◇ 運行業務委託内容

項　目	業務委託に含まれるもの
⑴児童生徒の登下校時や学校行事の送迎	人件費、燃料費、任意保険料　等
⑵車両の保管、清掃、点検等	車両整備費（車検費、軽微な修繕費、タイヤ交換費、オイル・バッテリー等消耗品費）　等
⑶車両保管場所等の清掃、管理	待機施設の維持管理費（水道、電気使用料）　等

※車両の老朽化を原因とする受託者に起因しない修繕において、修理総額が概ね30万円を超える場合は協議の上、町、受託者の負担を決定する。
上記修繕費以外の費用は基本的に委託業務費の中に含む。

評価

1 事業効果

令和6年4月より開始する白石中学校スクールバス運行に向けて準備を完了させ、スムーズな運行開始ができる体制が整った。

2 課　題

今後、令和8年度からの有明小学校、令和12年度からの白石地域新設小学校および福富小学校での運行を控えており、児童生徒数の状況を踏まえた効率的な運行に努めていかなければならない。

A：十分達成した
B：ある程度達成
C：達成が不十分である
D：達成には程遠い

判定	A

令和5年度 白石町教育委員会　主要事業点検・評価シート

No.22

事業名	中学校再編に伴う施設整備	担当部署	学校教育課　新しい学校施設係

白石町総合計画	基本構想		基本計画	
（人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	第　4　章	個性豊かな人と文化を育むまち【教育文化の向上】	第　1　節	個性豊かで優れた人材の育成

財源内訳（単位：千円）							「白石町教育の指針」重点目標との関連
		国庫	県費	地方債	その他	一般財源	
決算額	747,597	71,824		629,300	15,500	30,973	⑩　小中学校再編に関する取組
（最終予算額）	（　985,132　）						

内容

1 事業概要

少子化による生徒数の減少に伴い、白石町立中学校の小規模化が進行し中学校間の教育活動の格差が生じる中で、生徒のよりよい教育環境を整えるため、白石町立中学校統合再編計画に基づき、町内3中学校を1校に再編する。新設中学校は現白石中学校の校舎を活用するため、不足教室の増築や改修等、開校に向けた校舎の整備を行う。

2 事業実績

	節	決算額	細節	内容説明	
繰越	12. 委託料	4,286	監理委託料	白石町立白石中学校増築改修工事監理委託料	2,675,280 円
			その他委託料	白石町立白石中学校増築改修工事設計意図伝達業務委託	1,610,730 円
	13. 使用料及び賃借料	0	その他借上料	白石町立白石中学校仮設校舎賃貸借	0 円
	14. 工事請負費	440,887	工事請負費	白石町立白石中学校校舎・体育館改修工事 等	440,887,490 円
	小　計	445,173			
現年	10. 需用費	498	消耗品費	用紙、トナー、事務用品等	497,725 円
	11. 役務費	79	手数料	建築確認申請手数料 等	79,000 円
	12. 委託料	25,376	施設設備管理委託料	白石町立白石中学校仮設校舎警備委託 等	104,280 円
			設計委託料	スクールバス昇降場等整備工事設計業務委託	3,520,000 円
			監理委託料	白石町立白石中学校増築改修工事監理委託料	2,057,780 円
			その他委託料	白石町学校施設等整備事業に係る発注者技術支援業務委託 等	19,693,829 円
	13. 使用料及び賃借料	5,128	その他借上料	白石町立白石中学校仮設校舎賃貸借 等	5,128,376 円
	14. 工事請負費	270,005	工事請負費	白石町立白石中学校校舎・体育館改修工事 等	208,700,690 円
				スクールバス運行管理事務所 等整備工事	61,304,100 円
	17. 備品購入費	1,287	その他備品購入費	白石町立白石中学校電話機購入	1,287,000 円
	18. 負担金、補助及び交付金	51	負担金	スクールバス運行管理事務所上水道加入金分担金	50,600 円
	小　計	302,424			
合　計		747,597			

評価

1 事業効果

統合再編に伴う教室不足に対応するための増築・改修のほか、バリアフリー化、トイレの洋式化など安全安心な教育環境の整備ができた。
また、スクールバス乗降場の整備ができた。

2 課題

新設中学校開校後に整備する部室においては、学校と密な調整を図りながら教師・生徒たちになるべく負担がかからないような工程を組む必要がある。また、再編後に廃校となった旧福富中学校においては、跡地利用のため早期に解体する必要があり、解体工事に伴う周辺建物への影響を考慮する必要がある。

A：十分達成した
B：ある程度達成
C：達成が不十分である
D：達成には程遠い

判定	A

令和5年度 白石町教育委員会　主要事業点検・評価シート

No.23

事業名	小学校再編に伴う施設整備	担当部署	学校教育課　新しい学校施設係

白石町総合計画	基本構想		基本計画	
（人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	第　4　章	個性豊かな人と文化を育むまち 【教育文化の向上】	第　1　節	個性豊かで優れた人材の育成

財　源　内　訳　（単位：千円）							「白石町教育の指針」重点目標との関連
		国庫	県費	地方債	その他	一般財源	
決算額	10,665				10,000	665	⑩　小中学校再編に関する取組
（最終予算額）	（　15,500　）						

内容

1 事業概要

少子化による児童数の減少に伴い白石町立小学校の小規模化が進行し、数年後には複式学級の出現が見込まれるなど教育活動の格差が生じる恐れがある。児童のよりよい教育環境を整えるため、白石町立小学校再編計画に基づき、町内8小学校を3校に再編する。

2 事業実績

・白石地域新設小学校基本構想・基本計画策定委員会（3回）
・白石地域新設小学校基本構想・基本計画策定委員先進地視察（1回：熊本県和水町立三加和小学校、福岡県みやま市立桜舞館小学校）

節	決算額	細節	内容説明		翌年度繰越額	R6年度債務負担額
7. 報償費	162	その他報償費	白石地域新設小学校基本構想・基本計画策定委員謝金	162,000 円	0 円	0 円
12. 委託料	10,503	測量委託料	白石地域新設小学校地形測量業務委託	0 円	4,600,000 円	0 円
		設計委託料	有明地域新設小学校基本・実施設計業務委託	2,993,000 円	0 円	12,800,000 円
		その他委託料	福富小学校既存校舎調査業務委託 等	3,369,283 円	0 円	0 円
			白石地域新設小学校基本構想・基本計画策定業務委託	4,141,000 円	0 円	7,000,000 円
合　計	10,665				4,600,000 円	19,800,000 円

○次年度新設小学校施設整備費　委託料繰越額　　4,600千円

評価

1 事業効果

白石地域新設小学校においては、基本構想の策定により学校の規模や求められる機能等、学校建設に関する基本的な考え方について整理できた。
有明地域新設小学校においては、有明中学校を小学校の用途にするために必要な改修工事の基本設計ができた。
福富小学校においては、施設整備の方針策定の資料とするための既存校舎調査を行った。

2 課題

小学校再編計画の目指す小学校像を踏まえた整備を行う必要がある。福富小学校においては現状の施設を改修することから、学校と密な調整を図りながら教師・児童になるべく負担がかからないような工程を組む必要がある。また、有明地域新設小学校及び白石地域新設小学校においては、開校日に確実に間に合うように工程管理が必要である。

A：十分達成した
B：ある程度達成
C：達成が不十分である
D：達成には程遠い

判定	A

令和5年度 白石町教育委員会　主要事業点検・評価シート

No.24

事業名	新学校給食センターの施設整備	担当部署	学校教育課　学校給食係

白石町総合計画	基本構想		基本計画	
（人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	第　4　章	個性豊かな人と文化を育むまち【教育文化の向上】	第　1　節	個性豊かで優れた人材の育成

財源内訳（単位：千円）							「白石町教育の指針」重点目標との関連
		国庫	県費	地方債	その他	一般財源	
決算額	1,416,959	118,770		1,218,700	45,000	34,489	⑩　小中学校再編に関する取組
（最終予算額）	（　1,522,265　）						

内容

1 事業概要

学校給食調理場の統合再編により、新たに学校給食衛生管理基準を満たす給食センターを建設する。

2 事業実績

	節	決算額	細節	内容説明	
繰越	12. 委託料	6,211	設計委託料	新白石町学校給食センター建設工事設計意図伝達業務委託	979,000 円
			監理委託料	新白石町学校給食センター建設工事監理業務委託	5,232,480 円
	14. 工事請負費	0	工事請負費	新白石町学校給食センター建築工事 等	0 円
	小　計	6,211			
現年	11. 役務費	87	手数料	建築確認申請手数料	87,000 円
	12. 委託料	1,782	設計委託料	旧白石町学校給食センター解体工事設計業務委託 等	1,782,000 円
	14. 工事請負費	1,408,732	工事請負費	新白石町学校給食センター建築工事 等	1,408,732,366 円
	18. 負担金、補助及び交付金	147	負担金	新白石町学校給食センター下水道新規加入金	146,650 円
	小　計	1,410,748			
合　計		1,416,959			

評価

1 事業効果

学校給食衛生管理基準に適合する給食センターが完成した。
また、調理場を給食センターに集約することで、人件費及び燃料費等の経費の節減が見込めるものとなった。

2 課題

新センターへ移行後は、旧センターを早期に解体し社会体育等の駐車場のために整備する必要がある。

A：十分達成した
B：ある程度達成
C：達成が不十分である
D：達成には程遠い

判定	A

５ 評価委員の意見・評価

白石町教育の指針における重点目標（事業）について	●青少年の健全育成 「家庭教育啓発事業」 P18 〇この事業においては、令和4年度もB判定で令和5年度もB判定となっています。先程、事業効果と課題について説明がありましたが、課題に「家庭教育出前教室」とありますが、この教室は具体的にどういう事業なのか。あと令和6年度において、この事業が行われる予定があるのか、併せてお尋ねします。 ・家庭教育出前教室とは、保育園や小学校へ出向き、保護者対象に家庭教育についての講話を実施する事業で、令和4年度より実施していますが、まだ実施回数が少ないため、B判定としています。令和6年度においては、まだ実施していません。 ●生涯スポーツ・レクリエーションの振興 「スポーツ・健康増進のまち宣言」の普及推進」 P21 〇この事業においても、令和4年度もB判定で令和5年度もB判定となっています。令和4、5年度ともコロナ禍で「スポーツ・健康増進のまち推進委員会」を立ち上げることができなかったのは、致し方ないと思いますが、令和6年度に入って推進委員会の進捗状況についてお尋ねします。 ・宣言をしたのが令和元年12月で、それに伴い、目標及び取り組み方針も策定されています。それ以後コロナ禍となり、推進委員会を設立できずにいました。コロナ禍を境に町民の方のスポーツ等に対する考え方も変化していると思われます。推進委員会の設立と同時進行で、目標及び取り組み方針、並びに計画等の変更についても現在、検討しています。

	●青少年の健全育成 「家庭教育啓発事業」 P18 〇先程の説明で、保育園での出前教室の実施についての課題として、保護者が集まる時間の調整が難しかったとありました。来年2月に、外部から講師を招く計画を立てていますが、今回、出前教室の内容等において、合致するものがなかったと思われます。ですが、出前教室については、ぜひ継続をお願いしたいと思います。 ●個性豊かで優れた人材の育成 「遠距離通学者支援事業」 P27 〇課題のところで、福富小学校での運行を控えておりとありますが、これはどういう事なのかお尋ねします。 ・福富小学校は再編しませんが、有明の3小学校においては、再編し令和8年度に新有明小学校が開校します。通学距離が2．5㎞以上の子ども達に対し通学支援を行うとしています。今後、白石地域新設小学校においても協議を行い、変更になる可能性もありますが、今のところ町としては、小学校については2．5㎞という基準で通学支援を行います。町内の小学校においては、福富小学校も同じく、一律で支援を行うとしています。 ●青少年の健全育成 「家庭教育啓発事業」 P18 〇課題において、保護者の方の時間的確保が困難というのは、確かにそうだと思います。新設小学校の説明会に行った際も、当事者の人たちの参加が少なかったように感じました。小学校に入る前の子どもさんが対象になってくると思いますので、やはりその人たちに関心を持ってもらうことは、とても大事なこと

	だと思います。家庭教育ということで、言葉が仰々しいというか、どんなことを教えられるのかというふうに思ってしまいます。言葉というのは、すごく重みを感じるところもあると思いますので、何かお母さん達同士で話をする時に、ファシリテーターのような方が来られ、学校の事など話ができれば、家庭としてはありがたいと思います。 ●確かな学力の育成と時代のニーズに対応した教育の推進 「就学等支援事業」 P9 〇通級指導教室については、長い間、福富小学校と有明西小学校の2つの小学校に設置されていると思います。その小学校に設置されているのは、通いやすいからだとか、例えば、通う子どもさんが多いので、その小学校を選定されているといったところをお尋ねします。令和8年度に有明3小学校が統合され、令和12年度には白石地域の小学校が統合され、教室の場所が変わる場合、例えば変わることが苦手な子どもさんに対して、こういう理由で変えたことを、受け入れやすいような理由があれば、教えてください。 ・実は令和6年度からで少し枠組みを変えています。毎年、国や県に対し、通級指導教室の増設希望を出していますが、難しい状況です。通級を望まれるご家庭、あるいは必要な子どもさんもいらっしゃいますが、全ての学校に教室があるわけではなく、他校通級の場合には、保護者の方にその学校までの送迎をお願いしています。このようなことを鑑みながら、令和6年度から小学校の通級指導教室の場所を変更させていただいています。増設ではなく、移設という形になります。具体的に言えば、福富小学校に令和5年までは、言語とLD/ ADHD

	の二つの教室がありました。これを１つのLD/ADHD だけの教室に変えております。その代わりに北明小学校に新しく LD/ADHD の教室を開設しています。これまでの傾向として、ことばの教室を利用される子どもさんよりも、まなびの教室を利用される子どもさんの数が圧倒的に多いです。ですから令和６年からまなびの教室を3つ、ことばの教室を引き続き有明西小学校に1つ残した状況です。ここも1つ枠組みを変えまして、ことばの教室の先生には小学校８校を巡回していただき、曜日を決めて学校を巡回していただくことにより、子どもさんが送迎なく、その学校で学べるような枠組みを今作っているところです。今も増えてきている状況なので、国や県に対し、ことばの教室あるいは、まなびの教室の増設をお願いしています。有明の3つの小学校が令和８年度に1つになります。3つの小学校が1つになるということを見越した上で、令和６年度から通級指導教室を2つ残す学校を、有明西小学校にした次第です。ですから、令和８年度にそのまま2つの教室が新有明新小学校に移動するというふうに考えています。中学校においては、これまでも子どもさんが移動せずに、先生が巡回されていましたので保護者への負担もありませんでした。今年度より中学校が1つになりましたが、状況としては上手くいっていると思います。 ●生涯スポーツ・レクリエーションの振興 「スポーツ・健康増進のまち宣言」の普及推進」 P21 〇評価のところで、ジムナスティクスホール白石を活用する企業誘致は、「白石町スポーツ・健康増進のまち宣言」にも繋がる取り組みとなったとありますが、具体的にどのような点がこの宣言に繋がるような取り組みになるのかをお尋ねします。

	・スポーツ健康増進のまち宣言にも繋がる取り組みとなっている理由についてですが、宣言目標が4つに分かれています。その中の一つに、私達はスポーツ運動を通して、「郷土の誇りと和の心を育み、人と大地が潤い輝く豊穣の町を築きます」というのがあります。その目標及び取り組み方針として、国スポを初め、全国レベルの大会を目標とする人材育成の機運作りというのがあります。この誘致に伴い、体操の町として、アスリートからのトップレベルの指導が受けられるため、人材育成等に繋がります。また、ジムナスティクスホール白石では、トップレベルの選手の育成だけではなく、高齢者の日々の体力作り等にも力を入れたいということを言われています。そのことが、もう1つのスポーツのまち宣言でもある「スポーツ運動を通して健やかでたくましい体を作り、健康で充実した生涯を目指します」ということで、個人のライフステージに応じた運動や遊びを提供することにより、個々の体力作り等にも繋がっていき、このスポーツのまち宣言にも繋がる取り組みとなっています。 〇ジムナスティクスホール白石での体操教室は、習い事というイメージですが、そうではなく、町民に対し開かれた施設になるということですか。 ・ジムナスティクスホール白石では、(株)Doragoing Sports より、小さい子どもから高校生に器械体操を主に教えられています。また、介護予防、そして健康増進に関係する教室も開かれる際には、町として委託することも視野に入れ検討することになるのではと思います。あくまで、(株)Doragoing Sports は企業であるため、委託料及び料金等が発生すると思われますが、色々な面において町への貢献も考慮し、互いに Win-Win の関係で進めていきたい

	と思います。 〇小学生や中学生が学校の体育で、例えばマット運動等の指導、施設内の設備を見せてもらう等、子ども達の教育活動にも繋がるようなものだと、町民としてはありがたいと思います。 ・体育の授業等についても、(株)Doragoing Sports の事業内容に、学校の体育の支援もありますので、今後、教育委員会として詳細な部分についても協議を進めていきます。